

令和6年度



研究デザイン



かめ やま おおいち
亀山市 1月27日(土)
亀山東小学校出店!!
出るお店
・レジラッシュ 楽しすぎるまであて
・超楽しいスーパーボールすくい
・CAKEショップ・AROMACANDLE会社
・ショップNiko 輪投げ・ボーリング会社
・ストラックス ナイパー
場所(はれ) 時刻(9時半~11時半まで)
・東町商店街の東小俱(いかにましましやう
てんがいひかひしょうかう)
・東小学校新棟 (たかししょうごう
しんとく)
★新棟にくる人ははきものくつばい必要?
ぜひ
きてね!



亀山市立亀山東小学校

〒519-0116 亀山市本町一丁目9番9号

TEL 0595-82-0011 FAX 0595-82-9693

教育大綱 基本方針―I―

未来を拓く子どもたちの豊かな学びの実現

亀山市教育関係職員 研修基本方針

一人ひとりの児童・生徒が個性を生かしながら、なかまとともに主体的に学ぶために

- (1) すべての子どもの学ぶ意欲を高め、社会で生きてはたらく「確かな学力」を育てる教育活動をすすめる。
- (2) 教師の授業力向上を追求するとともに、系統的な指導をすすめる。
- (3) 人権を尊重し、なかまとともに、豊かな心と身体をはぐくみ、自己肯定感・自己有用感を高める教育活動をすすめる。
- (4) 地域の人材や活動を活用し、地域とともに特色ある教育活動をすすめる。
- (5) 研修履歴を活用した新たな研修制度により、効果的かつ主体的に資質向上をすすめる。

1. 学校教育目標

地域の中で生き生きと学び 豊かな心をもって よりよく生きる子どもの育成

子どもたちがいきいきと楽しく学ぶ学校

一人ひとりの子どもに居場所がある学校

保護者・地域と教職員が手を取り合って進む学校

2. 研究主題及び研究領域

子どもたちの「やってみたい」を大切にした授業づくり

～聞く・話す活動を中心として～

領域：国語科・生活単元学習

3. 研究主題設定の理由

昨年度まで、子どもたちの「やってみたい」を大切にしながら研究を進めてきたことで、主体的に活動する姿が見られるようになってきた。今年度もこのことを大切にしながら、課題となる「聞く」力と、相手を意識した「話す」力を伸ばしていきたいと考える。子どもたちが聞きたいと思う課題の設定や、聞くだけではなく相手の思いを受け止め、自分の考えを伝えることができるような活動の工夫に重点を置いた研究をすすめることとした

課題

- ・聞き方スキルの定着と聞きたくなる環境づくり。
- ・話し手の思いに寄り添い、共感的に聞くことのできる場面設定。
- ・子どもの考えや思いに応じて地域の「ひと・こと・もの」に関わらせていく。
- ・各学年の内容を系統立てて、つけたい力を確実に身につけさせていく。

成果

- ・子どもたちの「やってみたい」を大切にしながら進めることで、主体的に活動することができた。
- ・地域のひと・こと・ものを活用してきたことで子どもたちや学校と地域との距離が縮まり、ともに教育活動をすすめることができた。
- ・タブレット端末等を活用して、調べたりまとめたりする活動に学年に応じ、取り組むことができた。

単元構想を練る。

自ら課題を設定し、主体的に活動できる方法を探り、子どもたちの「やってみたい」を大切に活動にしていく。

地域のひと・こと・ものを活用する。

学年に応じて、また子どもたちの「やってみたい」に応じて、地域のひと・こと・ものに出会わせていく。

学習したことを活かす。

すべての教科・領域において「聞く・話す」ことを意識し、教科横断的な学習をすすめていく。

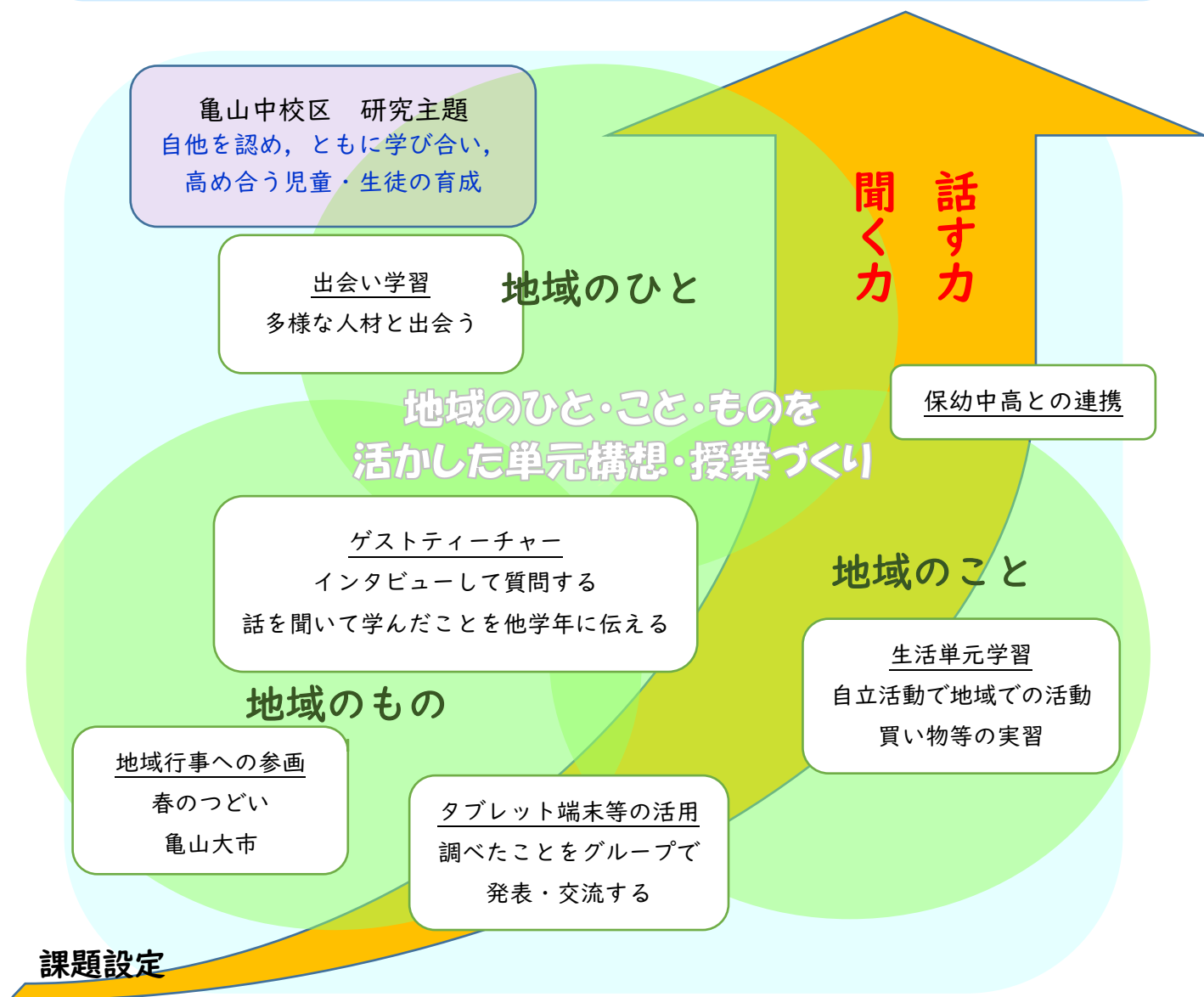
めざす子どものすがた・教職員のすがた

4. 研究構想図

めざす子ども像

【地域の中で生き生きと学び、豊かな心をもってよりよく生きる子ども】

- ・自ら課題を立て、仲間とともに思いを出し合いながら、粘り強く学習に取り組む子
- ・自分も仲間も大切にでき、ちがいを受け入れ、いじめを見逃さず、自信をもって生きる子
- ・感謝の心で人と接し、世代を超えて協力でき、地域の未来に貢献できる子



子どもたちにつけたい力

- ・自分の考えを持ち、表現する力。
- ・友だちの思いや考えをしっかりと聞き、自分の考えを見つめ直す力。
- ・自分の考えを持ち、表現する力。
- ・課題に対して、最後まであきらめずに、根気強く取り組む力。

学びを支える基礎学力づくり～学習部と連携～

学びを支える学級づくり～人権教育推進委員会と連携～

5. 研究内容

授業づくり

- ① 学年ごとにめざす子どもの姿を設定する
 - ・発達段階に応じた子どもたちの聞く・話す姿を明確にし、国語科・生活単元学習を中心にスキルの定着やめざす姿の実現のための手立てを工夫する。
- ② 相互授業参観
 - ・日常的に互いの授業を見合える環境を作り、授業力向上の機会とする。
 - ・学期に1回程度の相互授業参観ウィークを設定する。
- ③ 学びを高める
 - ・「よむ×よむ」「マス×マス」を活用した授業実践を行い、「読む・読み取る力」「算数・数学的思考力」の育成を図る。
 - ・T.T.を活用し、子どもたちの確かな学力の育成につなげる。
 - ・学調、みえスタの分析から見える課題に取り組む。

基礎学力の定着

- ① 家庭学習
 - ・「いえ学のススめ」を配付し、家庭での学習環境づくり・学習習慣の定着を図るとともに、「いえ学強化週間」を学期に1回設定し自主学習に積極的に取り組む。
 - ・タブレット端末の持ち帰りをを行い、e-ライブラリ等を活用した繰り返し学習を行う。
- ② 補充学習
 - ・朝の学習、スキルアップタイムを活用し補充学習や復習を行う。
- ③ 読書習慣の確立
 - ・学校図書館活用アドバイザーや図書館司書と連携し、読書の推進と図書館活用推進を図る。

地域素材を生かした単元構想・授業づくり

地域のひと・もの・ことを学習過程で活用できる単元づくりを行う。単元を通して、つけたい力や目指す子どもの姿、学習のゴールを明確にして単元構想を作成する。また、各学年の発達段階に応じたテーマの設定、学校や地域の特色を生かしたテーマを設定する。

各教科等の学びを活かす

総合的な学習の時間を要とし、子どもや教員が各教科等で学びを活かすことができるように教科横断的な学習を行う。学習を進める中で、子どもと共に各教科との関連を確認していくことで、子どもも教員も各教科の学びと総合的な学習の時間との関連を認識し、活かすことができるようにする。